公共施設に関するアンケート
結果報告書

令和８年８月

総務部　公共施設マネジメント室

目次

１．アンケート調査の概要　・・・　Ｐ１

２．回答者の属性　・・・　Ｐ２～３

３．各項目の集計結果（市の目指す方向性）　・・・　Ｐ４～９

４．各項目の集計結果（市民センターについて）　・・・　Ｐ１０～１２

５．その他　・・・　Ｐ１３～１４

１．アンケート調査の概要

１．　目的

「公共施設再配置計画」の策定にあたり、名張市が保有する公共施設の現状の利用実態および、市民の皆様が感じているニーズや課題を把握し、今後の公共施設マネジメント（施設の適正配置や長寿命化計画など）の基礎資料とすることを目的として実施

２．　実施方法

Web アンケート形式（LoGo フォーム）

※要望があった方には紙アンケートを送付

３．　アンケート項目

全 14 問

・回答者の年齢、職業、住まいの地域

・公共施設の充実度

・人口減少・少子高齢化社会に向けて、公共施設に対する名張市が取り組むのが望ましい取り組みの方向性

・コミュニティ施設に関する質問

・その他

４．　対象者

令和８年１月１日現在、名張市にお住いの満１８歳以上の方から無作為に抽出した４，０００人（市民意識調査と同じ抽出条件）

５．　調査期間

令和８年２月１６日（月）　～　令和８年３月３１日（火）

６．　周知方法

市ホームページ、広報なばり、総合企画政策室による依頼文

※総合企画政策室の市民意識調査と合わせて調査を行った。

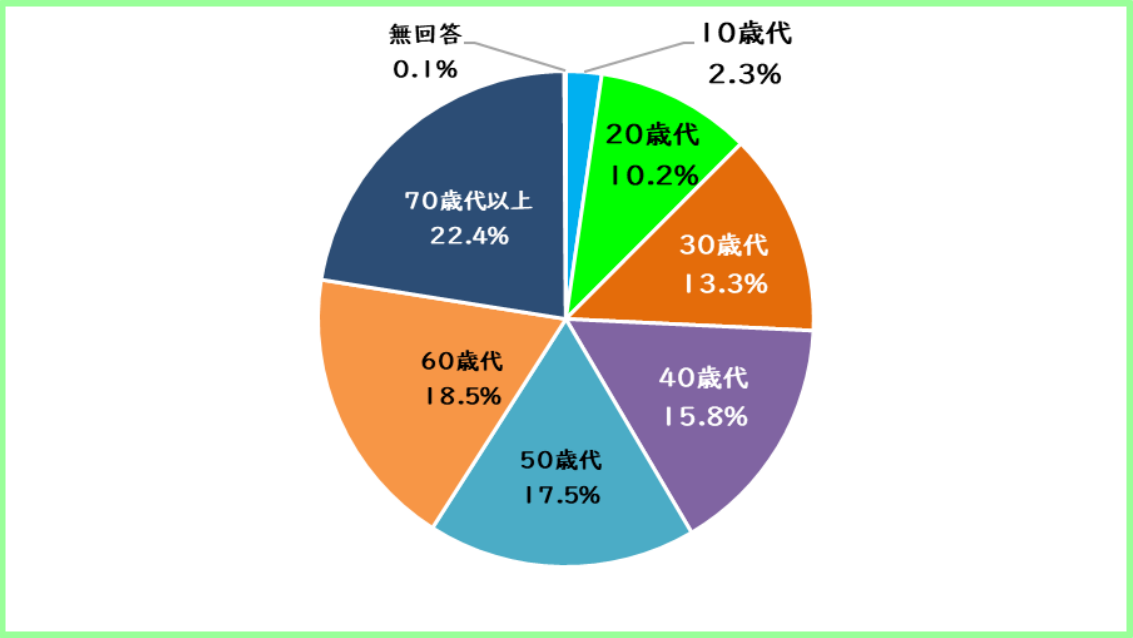
７．　回答数

1033（Web：993、紙 40）

２．回答の属性

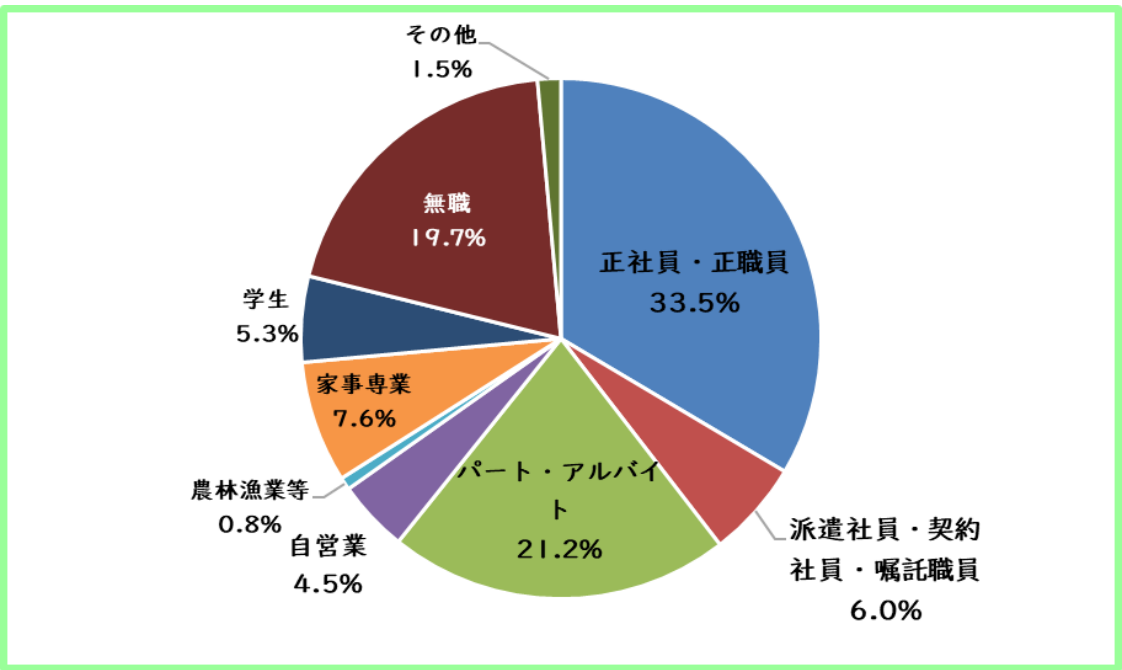
問１．あなたの年齢を教えてください。

回答者の年齢は「７０歳代」が最も多く 22.4%、次いで「６０歳代」が 18.5%、「５０歳代」が 17.5%であった。



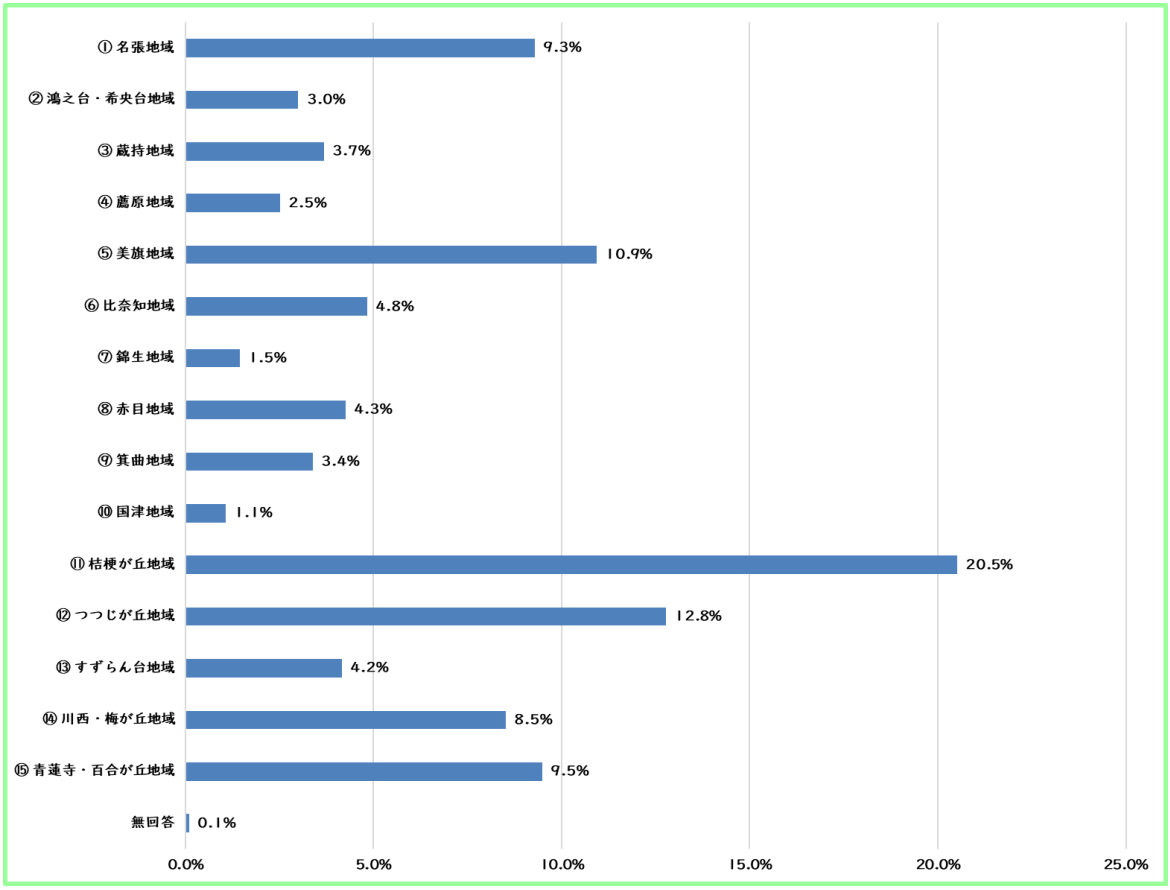
問２．あなたの職業を教えてください。

回答者の職業は「正社員・正職員」が最も多く 33.5%、次いで「パート・アルバイト」が 21.2%、「無職」が 19.7%であった。



問３．あなたのお住いの地域を教えてください。

回答者の居住地は「桔梗が丘地域」が最も多く 20.5%、次いで「つつじが丘地域」が 12.8%、「美旗地域」が 10.9%であった。



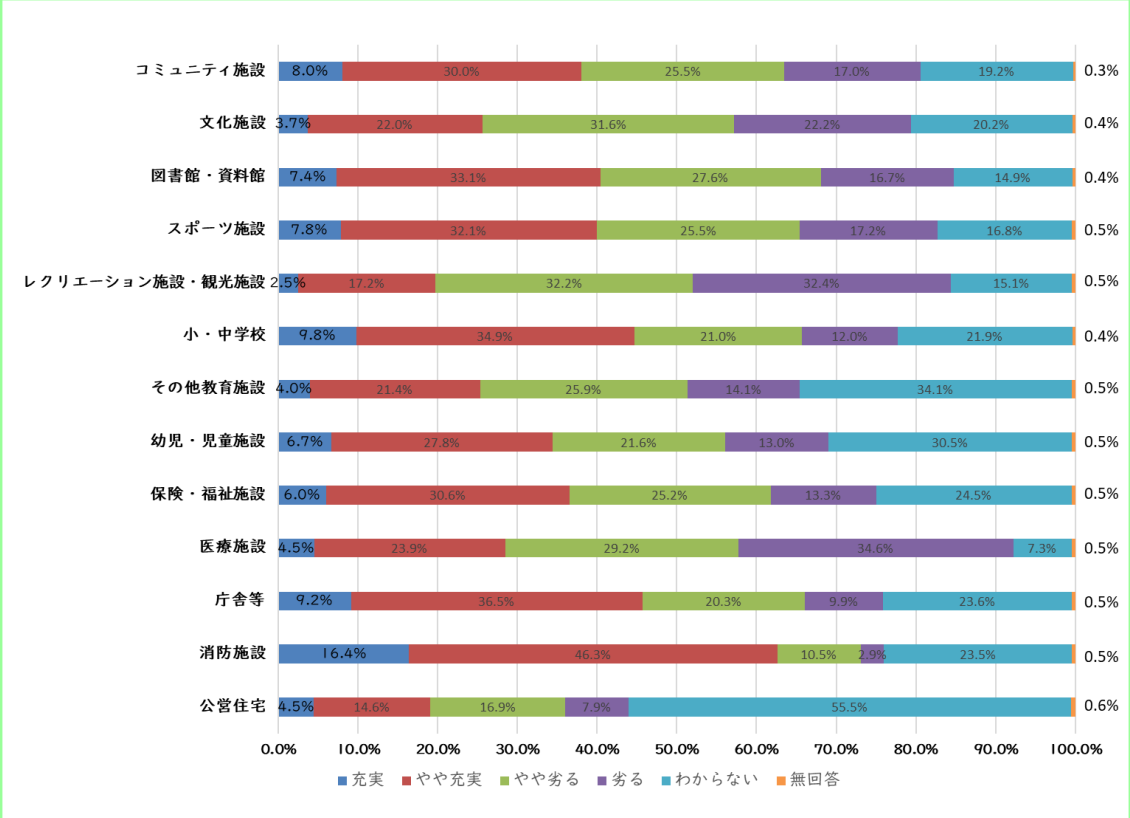
3．各項目の集計結果（市の目指す方向性）

問４．名張市の公共施設の数や規模、内容は、周辺市町村と比べて充実していると思いますか。各施設の類型ごとのそれぞれについて、あてはまるものを１つ選び、番号に◯をしてください。

充実・やや充実の割合の合計がやや劣る・劣るの割合の合計より高い施設は３つのみで、割合が高い順に「消防施設 62.6%」「庁舎等 45.7%」「小・中学校 44.7%」となった

それ以外はやや劣る・劣るの割合の合計の方が高い施設で、割合が高い順に３つあげると「レクリエーション施設・観光施設 64.7%」「医療施設 63.8%」「文化施設 53.7%」となった。

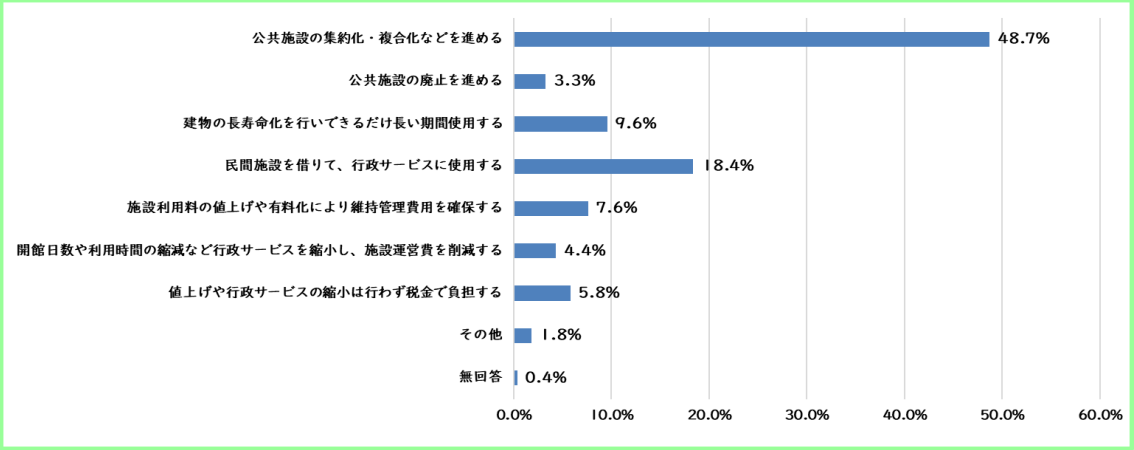
わからないの割合が最も大きい施設は「公営住宅 55.5%」のみであった。



問５．将来、すべての公共施設を適切に維持していくことが難しくなると考えられる中、公共施設に対する本市の望ましい取組の方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。　特にあてはまるものを２つ選び、番号に◯をしてください。

「公共施設の集約化・複合化などを進める」が最も多く 48.7%であり、次いで「民間施設を借りて、行政サービスに使用する」が 18.4%、「建物の長寿命化を行いできるだけ長い期間使用する」が 9.6%であった。

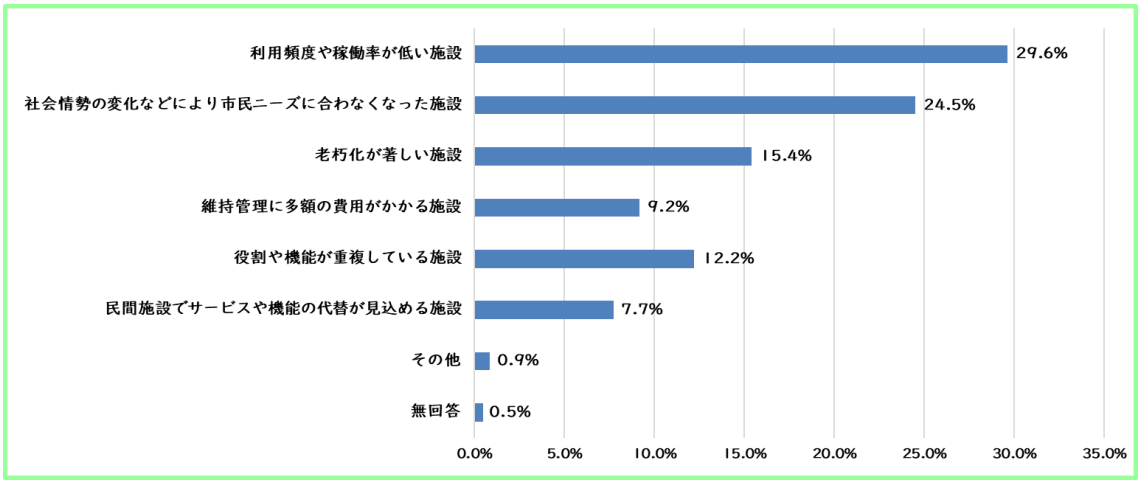
集約化・複合化を進める回答が他の回答に比べて大きく差があるため、市民の意見としては集約化・複合化を進める方向が良いという結果となった。



問６．今後、本市の公共施設を廃止や集約化・複合化する場合、どのような施設を対象にすべきだと思いますか。あてはまるものを１つ選び、番号に◯をしてください。

「利用頻度や稼働率が低い施設」が最も多く 29.6%であり、次いで「社会情勢の変化などにより市民ニーズに合わなくなった施設」が 24.5%、「老朽化が著しい施設」が 15.4%であった。

公共施設再配置計画を進める際には、上記の 3 点を評価基準に設ける必要があると考えられる。

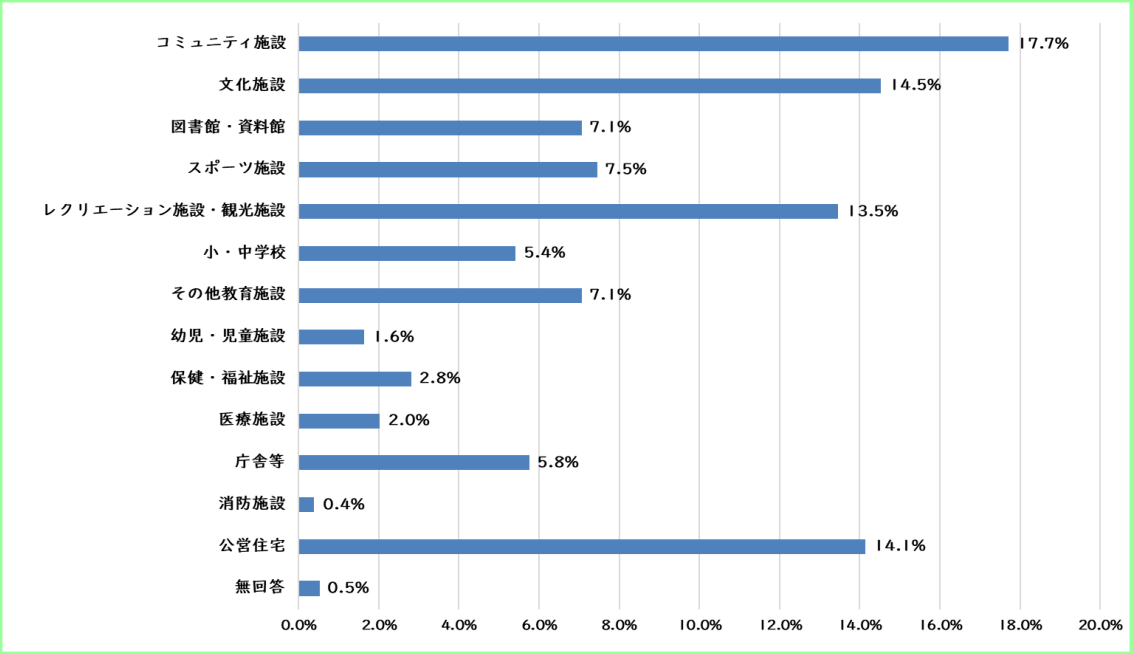


問７．今後、本市の公共施設を廃止や集約化・複合化する場合、どのような施設を対象にすべきだと思いますか。あてはまるものを１つ選び、番号に◯をしてください。

「コミュニティ施設」が最も多く 17.7%であり、次いで「文化施設」が 14.5%、「公営住宅」が 14.1%であった。

最も少ないのは「消防施設」の 0.4%であり、次いで「幼児・児童施設」が 1.6%、「医療施設」が 2.0%であった。

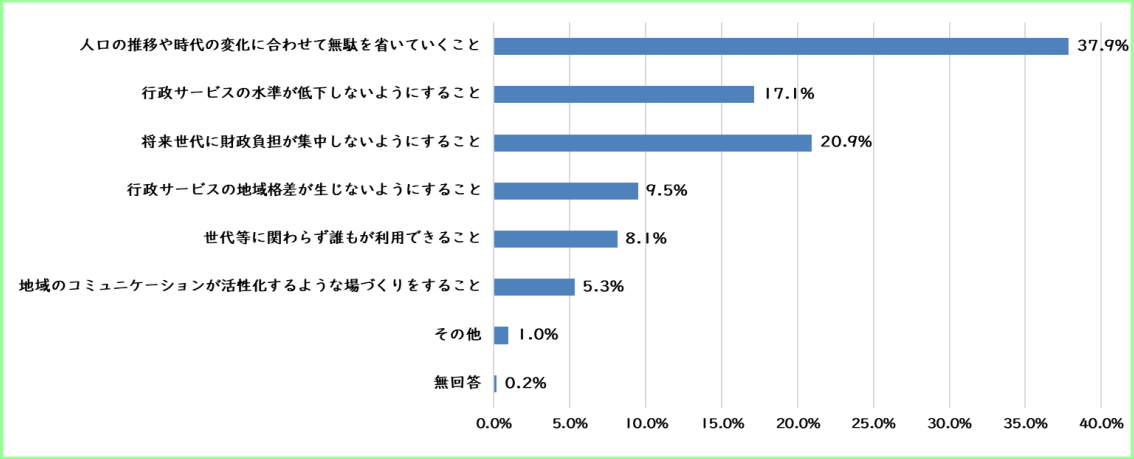
以上から、各地区の「市民センター・集会所」が、公共施設の廃止及び集約化・複合化を検討する際に、最初に検討すべき対象ということがわかる。



問８．今後、本市の公共施設のあり方を検討していくにあたり、どのような点に留意すべきだと考えますか。あてはまるものを１つ選び、番号に◯をしてください。

「人口の推移や時代の変化に合わせて無駄を省いていくこと」が最も多く37.9%であり、次いで「将来世代に財政負担が集中しないようにすること」が20.9%、「行政サービスの水準が低下しないようにすること」が17.1%であった。

以上のことから、多くの市民が望んでいることは「将来世代に財政負担が集中しないようにかつ行政サービスの水準を維持したまま時代に合わせて無駄を省いていくこと」ということがわかる。



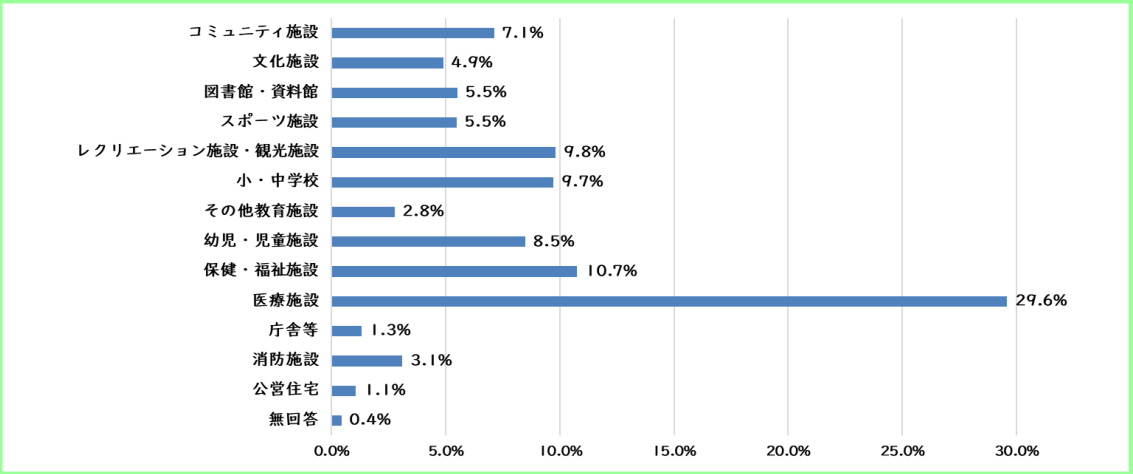
問９．今後、本市が充実・拡充すべきと考える施設は、どのような施設だと思いますか。特に当てはまるものを２つ選び、番号に◯をしてください。

「医療施設」が最も多く 29.6%であり、次いで「保健・福祉施設」が 10.7%、「レクリエーション施設・観光施設」が 9.8%であった。

最も少ないのは「公営住宅」の 1.1%であり、次いで「庁舎等」が 1.3%、「その他教育施設」が 2.8%であった。

以上の結果より、名張市も高齢化が進んでいることから、医療施設や保健・福祉施設の充実・拡充を求めている声が大きいことがわかる。

また、公営住宅については、廃止や集約化・複合化の対象にすべき施設でも 3 番目に多い回答が得られていることから、名張市において長寿命化・建替えを行う必要性が高くない施設ということがわかる。

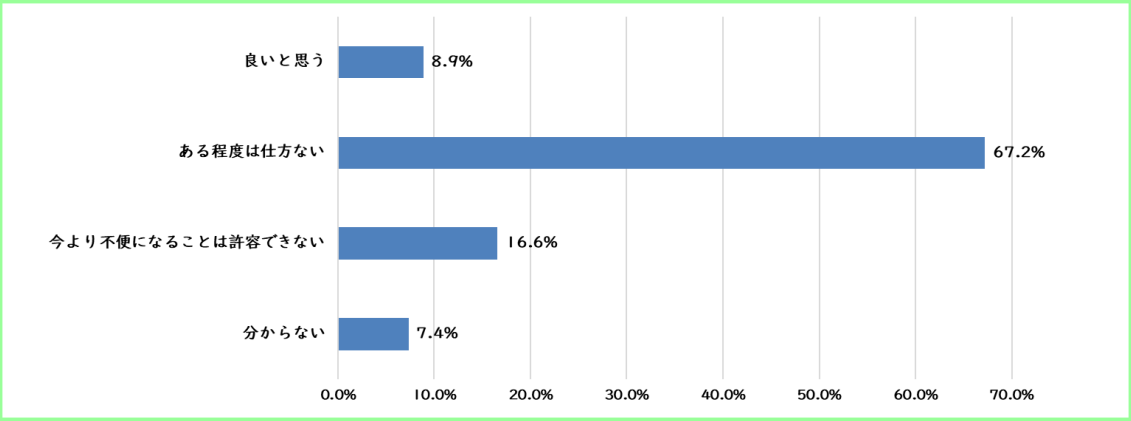


４．各項目の集計結果（市民センターについて）

問１０．公共施設の廃止や集約化・複合化を進めると、今まで利用していた市民センターのような身近な施設が遠くなったり、利用の仕方が変わったりする場合があります。このことについてどう思いますか。あてはまるものを１つ選び、番号に◯をしてください。

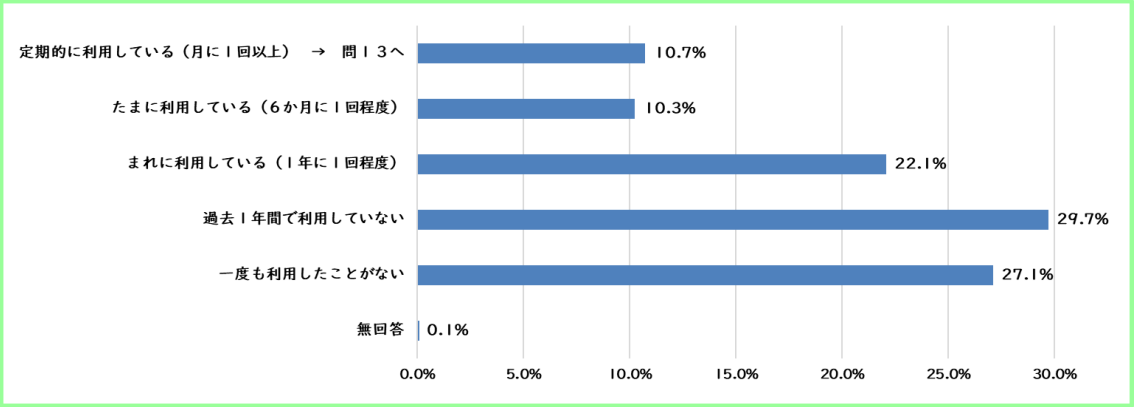
良いと思う・ある程度は仕方ないという回答の割合の合計が 76.1%であり、今より不便になることは許容できないの割合に比べて約 4.5 倍も高い結果となった。

そのため、多くの市民は公共施設の廃止や集約化・複合化によって今よりも不便になることについては受け入れる、受け入れざるを得ないと考えていることがわかる。



問１１．あなたは、コミュニティ施設（市民センター等）をどれくらい利用していますか。あてはまるものを１つ選び、番号に◯をしてください。

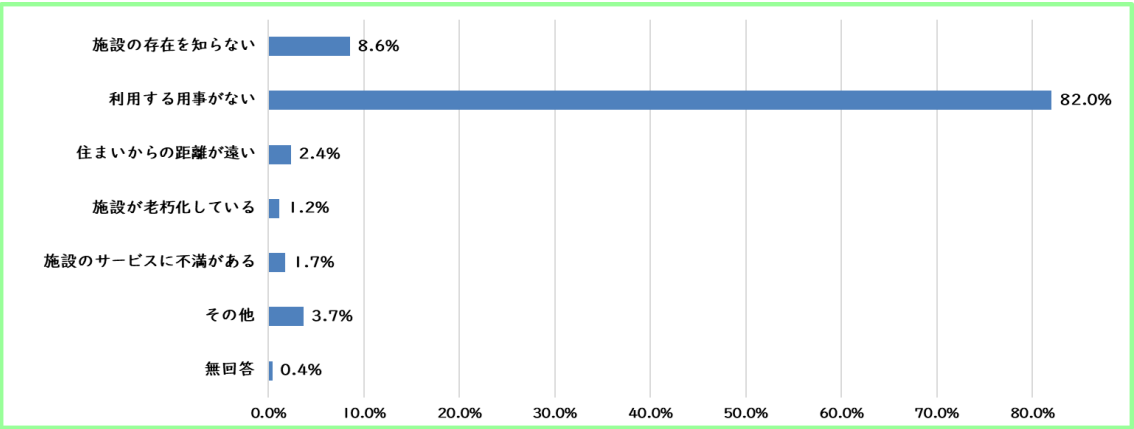
定期的に利用している市民は全体の１割程度で、残りは半年及び１年に１回程度の利用か、１年以内及び一度も利用していないという結果となった。



問１２．【問１１で「定期的に利用している（月に１回以上）」以外を選んだ方に伺います】利用が少ない、利用していない理由はどれですか。あてはまるものを１つ選び、番号に◯をしてください。

「利用する用事はない」が最も多く 82.0%、次いで「施設の存在を知らない」が 8.6%となった。

以上より、そもそも市民センターを利用する用事がないため、多くの市民は市民センターを利用していないことがわかる。

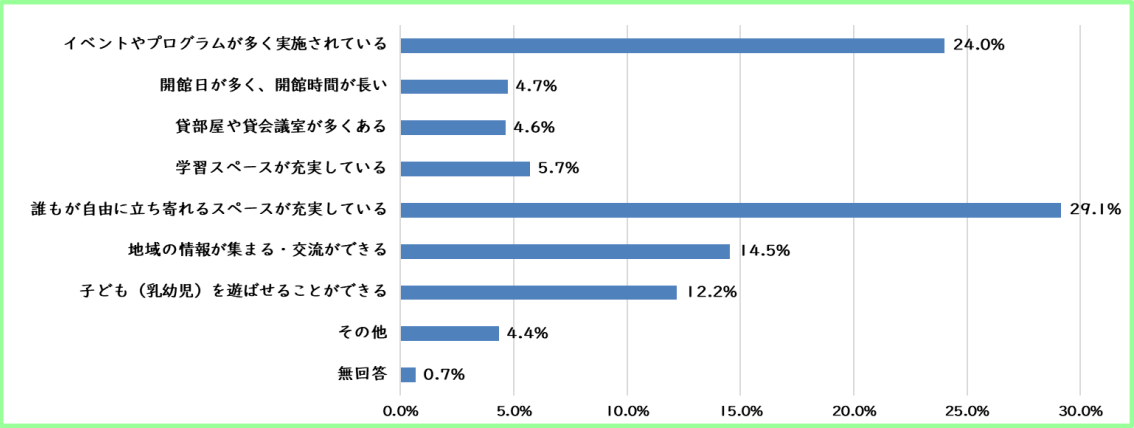


問１３．あなたは、コミュニティ施設にどのような機能の充実・拡充を求めますか

「誰もが自由に立ち寄れるスペースが充実している」が最も多く 29.1%、次いで「イベントやプログラムが多く実施されている」が 24.0%、「地域の情報が集まる・交流ができる」が 14.5%となった。

以上より、市民センターを利用している市民は少ないが、「誰もが自由に立ち入り、イベントやプログラムに参加でき、地域の情報が集まり交流できる場所」を求めていることがわかる。

また、「子ども（乳幼児）を遊ばせることができる」も 12.2%となっているため、子どもの遊び場に悩んでいる市民も多いことがわかる。



５．その他

問１４．最後に、本市の公共施設に関する取組について、その他ご意見があればお聞かせください。※自由記述をそのまま抜粋

（１）賛成意見

・利用者は特定の人に限られている感じがし、特に利用する機会がなければ、その施設を使わないので、公平性に欠けると思います。施設の在り方を考えて無駄な税金を投入しないよう考えて頂きたいです。

・少子化という状況は目に見えているので小中学校や保育施設の統合を行い維持管理費や人件費削減を考えるべきであるのは必然かと思われる。市民センターなどは人口減少が進んでいる地域でも残す必要はあるかと思うが毎日開館する必要はないと思うので、開館日を限定して維持管理費を減らしつつ魅力あるイベントを企画して利用者を呼び込み地域交流を高めると良いのではないかと思う。

・公共施設の統廃合は、人口減少や高齢化などで仕方がない、時代の流れだと考える。事業を進めるについては名張市だけで考えるのではなく、周辺地域とも連携しながら、進めるべき。人が集いやすように交通・移動手段を考慮して、利用勝手の良い、また、防災や利用環境（空調設備等）が充実した施設に集約いただきたい。

（２）反対意見

・幼児・児童施設や小中学校などは将来世代のためにも重要な施設であるので、廃止や縮小などは行わず、維持していくべきではないかと思います。また、図書館や資料館についても同様に、廃止・縮小すべきではないと考えます。人々が新たな知識を身につけ、学びを得ることができる施設を充実させることは、より良い未来へ繋がるのではないでしょうか。このような施設が廃止・縮小されることなく、今後も利用が継続できることを願っています。

・徒歩圏内に必要なもの、広域に一箇所あれば良いものを、この先どんな市にするのか考えながら精査していく必要があります。各地区の集会所も老朽化して使えなくなっていくであろう状況で、市民センターまでなくしたら、コミュニティの維持は厳しくなります。コミュニティの単位から見直す覚悟なら、それをはっきりと打ち出し、住民を巻き込んで進めてください。

・高齢化が進み運転免許証返納される方がいらしている中、市民センターが遠

くなるのは活動の場を奪うことになりかねません。幾つになってもイキイキと活動されているご高齢の方々を拝見し、私もそうなりたいな、と思うこの頃です。地域にある市民センターは近くにあることこそが大切なのではないでしょうか。

（３）その他

・人口減を問題にする以上、安心して子どもを産んで育てることのできる体制は必須だと考えます。とりわけ、分娩の出来る病院がないことは非常に問題だと感じる部分です。行政に出来ることは限られているとは言え、産院がない以上は、子育て支援を念頭に置いた公共施設の設計に取り組んでいただければと思います。

・子育てをしていく中で、公共施設にあたるか不明ですが公園をもっと充実させて欲しいです。老朽化などで使えないものがある公園などもあり、他の市から来た友達と行ける所も決まっている状態です。もっとのびのび遊べる所があるといいなと思います。まちの保健室については、他県から注目されモデルのようになっているのは承知していますがその分人件費はかさんでいるのでは、ないでしょうか。

・最低限のナショナルミニマムは確保願いたい。例えば『中学校給食の実施』、『市内での分娩病院の確保』、『中学校区エリアを対象とした地域包括支援センターの確保（まちの保健室では中途半端）』など。